



井口台1号管理用道路工事の進捗状況

いつも当事務所の砂防堰堤工事にご理解ご協力いただき、ありがとうございます。
現在は、掘削等の土工が終わり、法面の工事をすすめております。



令和4年1月

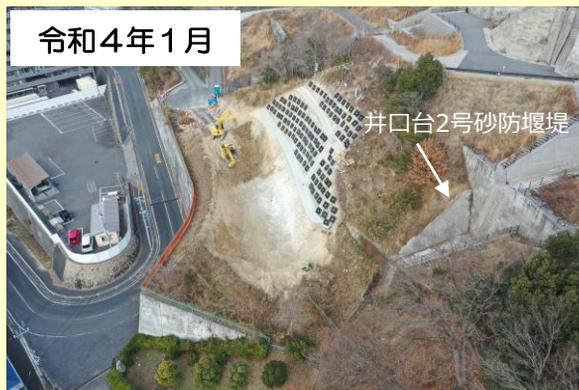
井口台2号砂防堰堤



令和4年5月現在

井口台3号砂防堰堤

井口台2号砂防堰堤



令和4年1月

井口台2号砂防堰堤



令和4年5月現在

井口台2号砂防堰堤

1月より道路部分が約70m進みました

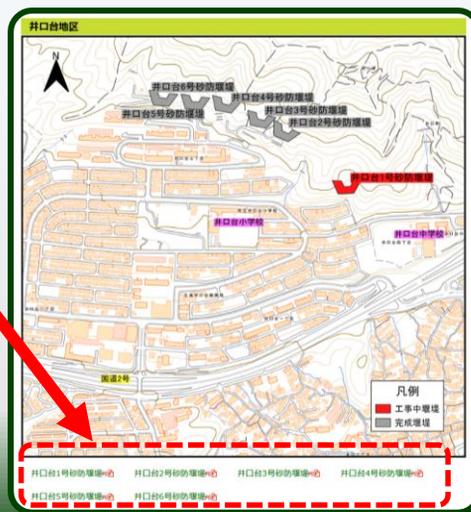


当事務所のホームページがリニューアルしました！



ツイッターからも
タイムリーな
情報を発信して
います。
ぜひご覧ください。

井口台地区の皆様の工事進捗状況は
こちらからご覧いただけます。



ホームページは
こちらから！



タイムリーな情報を
掲載しています！



井口台1号管理用道路工事（施工：株式会社伏光組）では
法面工事(鉄筋挿入)を「吊り式削孔機」で施工しています。

吊り式削孔機は、ドリル部のみをクレーンで吊り下げ、遠隔操作で施工する鉄筋挿入工法です。

従来の鉄筋挿入状況



法面に足場を構築して、
ボーリングマシンで施工



吊り式削孔機での鉄筋挿入状況



- 足場仮設が不要なので、工期短縮が可能です。
- 作業者がのり面上で機械操作することなく削孔が可能で、より高い安全性が確保できます。



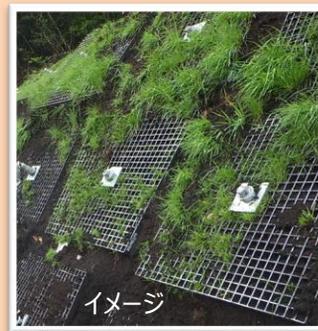
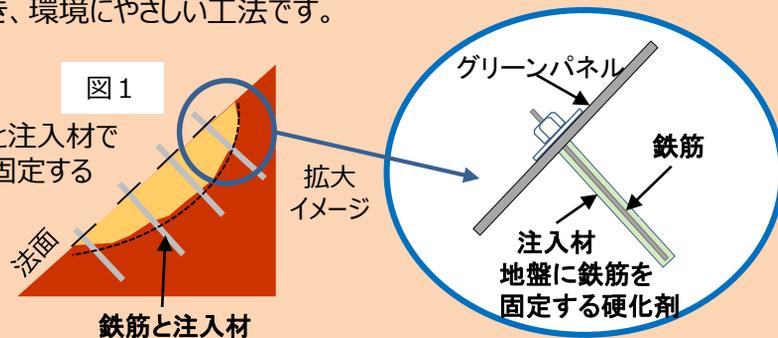
遠隔操作



どうして 法面(のりめん) に鉄筋を挿入するの？

大雨や地震などの自然災害によって、掘った山の土砂が崩れて落ちないように、専用のドリルで地盤に穴をあけ、鉄の棒をさし込み、鉄の棒と地盤とをコンクリートで固めて、山が崩れるのを防ぎます。(図1)

さらに、FRP製（グリーンパネルという固いプラスチック）の板と鉄の棒をボルトで固定し、地盤の中の補強だけでなく、表面の土砂がポロポロ落ちるのも防ぐ工法を採用しました。グリーンパネルには、たくさん穴が開いているので、草を生やすことができ、環境にやさしい工法です。



イメージ



井口台1号管理用道路工事の工期延期のお知らせ



現在は、掘削等の土工が終わり、法面の工事をすすめておりますが、現地の岩盤の状況などにより、6月以降も工事を延期して行うこととなりました。

地域の皆様には、引き続きご迷惑をお掛け致しますが、早期完成目指して工事を進めてまいりますので、よろしくお願いいたします。

なお、本年度も引き続き井口台地区は廿日市出張所 西山が担当させていただきます。

